

企業庁馬淵浄水場八幡安土バイパス送水管の漏水事故について

1. 発生日時および場所

平成 28 年 6 月 28 日(火) 午前 10 時 15 分

近江八幡市上田町地先 市道近江八幡駅千箇^{せんご}供線沿い

八幡安土バイパス送水管 口径 700mm 流量調整弁人孔内

(管路布設工事中であり供用開始前)

2. 漏水の原因および事故にかかる諸費用について

- ・設計上の不備による
- ・設計業者提出 (H28.7.12) の資料より抜粋
『漏水事故の原因は、フランジアダプターが離脱防止機構付きの仕様となっていなかったため、当初の設計方針としていた一体化配管が図れていなかったことです。
このことで、バタフライ弁が片側水圧を受けた際に拘束力のないフランジアダプターが離脱し、その箇所から漏水が発生しました。』
- ・併せて、工事業者の施工状況や施工結果等について、工事写真や管路継手部チェック表などの施工管理図書により確認を行ったところ、不備等はなかった。
- ・復旧工事や応援給水等の関係市町にかかる費用など、漏水事故にともなう諸費用については、原因者である設計業者に対して的確に求償する。

3. 復旧工事の状況について

- ・8月30日(火)から復旧工事に着手(12月末の完成を予定)
- ・復旧工事の概要は、別紙図面のとおりに。
- ・概算工事費 約 2,800 万円

4. 再発防止について

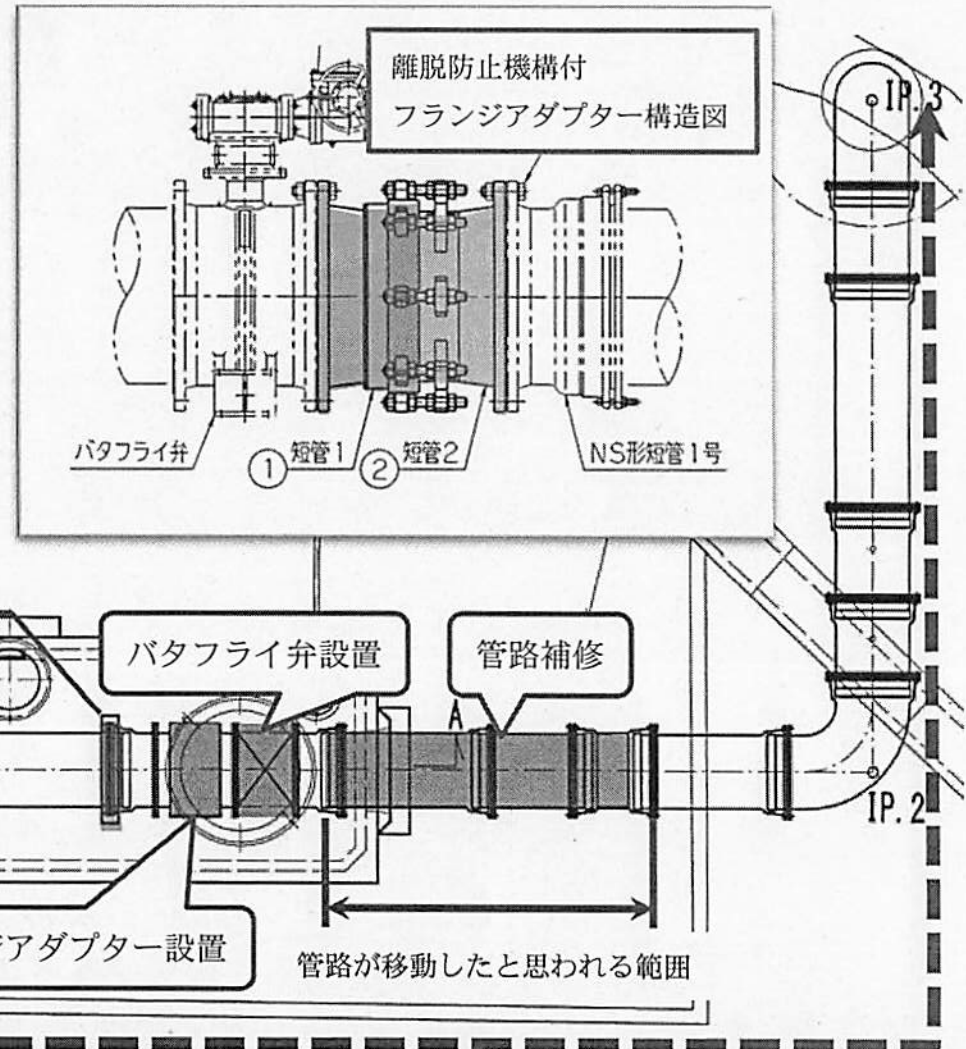
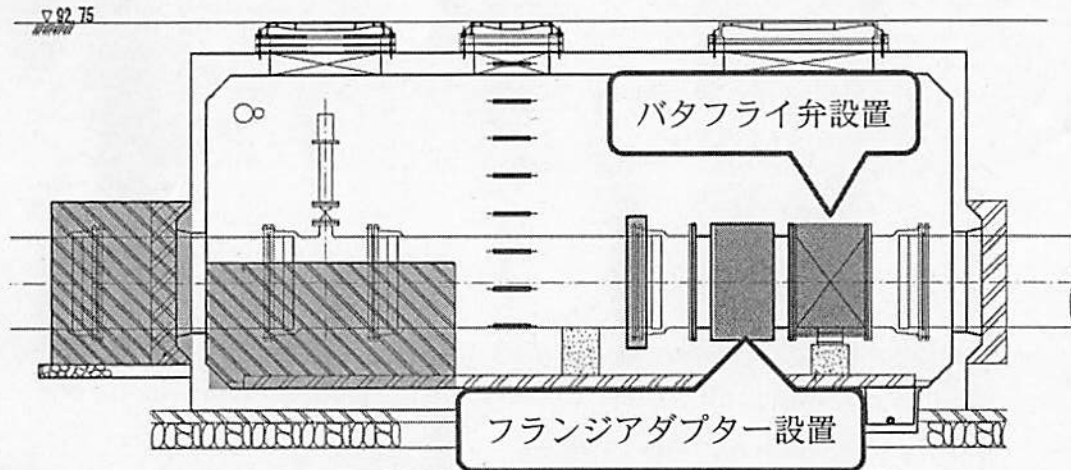
今回の漏水事故を踏まえ、今後以下のような取り組みを行い、再発防止に努める。

- ・管路工事に関しては、管路そのものの構造計算や不平均力(水圧によって管路が動こうとする力)など必要な構造計算が設計段階において行われ、発注者においても当該計算の確認を行っている。しかし、今回の発生箇所におけるマンホール前後の管路の「一体化構造」については、発注者側の確認が十分ではなかった。今後こうした「一体化構造」の箇所については、成果物の受け取り時と工事発注前の2段階で確認を徹底する。
- ・更に、今回の事故を踏まえ、設計業者への注意喚起も含め、関係者で情報を共有し、発注者として改善できる点等がないか常に留意して取り組んでいく。

八幡安土バイパス送水管復旧工事スケジュール

内 容	9月			10月			11月			12月		
継 手 部 補 強	←→											
管 路 補 修 工		←→										
電動バタフライ弁				点検整備					設置			
離脱防止機構付き フランジアダプター				工場製作								
道路復旧工+後片付け										←→		

復旧工事図



3

